

注意事項

写真撮影、録音、携帯電話等のご使用はご遠慮いただきますよう
ようお願い申し上げます。

なお、スマートフォン・タブレットをご使用の際は、音のでない設
定でご使用いただきますよう、ようお願い申し上げます。



第66回 定時株主総会

2024年6月20日

株式会社J-MAX

報告事項の報告及び決議事項の説明

株主様からの質問

決議事項の採決

1.報告事項	■ 監査報告
	■ 事業報告及び計算書類の報告
	● 連結及びセグメント業績
	● 設備投資の状況
	● 連結計算書類
	● 対処すべき課題 中長期5か年計画「J-VISION 30」見直し
	● 第67期 業績予想
2.決議事項	第1号議案 剰余金の処分の件
	第2号議案 取締役8名選任の件
	第3号議案 補欠監査役1名選任の件

ご発言、ご質問は、報告事項、決議事項の説明が終わりました後に一括してお受けいたします。

議決権数報告

株主数及び議決権数（2024年3月31日現在）

- 議決権を有する株主数 2,369名
- 議決権数 115,632個

監査報告

招集ご通知交付書面51～52ページをご覧ください

報告事項

- 連結及びセグメント業績
- 設備投資の状況
- 連結計算書類
- 対処すべき課題
- 第67期 業績予想

招集ご通知交付書面18～46ページをご覧ください

世界経済

ウクライナ及び中東での情勢悪化等により**物流網の混乱**
エネルギー資源をはじめとした**物価上昇**

回復鈍化

日本

半導体供給不足は緩和するものの
能登半島地震に伴う部品供給不足等が影響

回復鈍化

タイ

自動車需要の縮小及び中東情勢悪化影響による
輸出台数減少

販売減少

中国

電動化シフトの影響により**日系メーカー需要縮小**
新エネルギー車を中心に生産台数は増加

販売増加

自動車業界

(単位：百万円)

売上高

前年同期比+3.8%

52,356 54,347

第65期 第66期

営業利益

前年同期比▲63.0%

2,811 1,041

第65期 第66期

経常利益

前年同期比▲73.0%

2,712 731

第65期 第66期

親会社株主に帰属する 当期純利益

前年同期比－

【特別損失】
固定資産廃棄損、特別退職金
等の構造改革費用計上
※第66期

1,298

▲1,026

第65期 第66期

セグメント業績(J-MAX)

10/39

(単位：百万円)

	第65期	第66期	前期比
売上高	17,437	21,473	+23.1% ↗
経常利益	1,232	1,269	+2.9% ↗

第66期主な立ち上がり車種



N-BOX(HONDA)



CROWN SUV(TOYOTA)

J-MAX 本社・上石津工場



売上高

生産回復及び原材料価格高騰分の売価転嫁等により増収

経常利益

生産性改善や経費削減等の原価低減活動をしたものの、生産車種構成変化及び岡山工場立ち上げに伴う準備費用の増加等により、利益は前年同期と同水準

セグメント業績(タイ)

11/39

(単位：百万円)

	第65期	第66期	前期比
売上高	7,276	7,701	+5.9% ↗
経常利益	124	▲263	—

第66期主な立ち上がり車種



CR-V(HONDA)



ALMERA(NISSAN)

タイ・マルジュン社 ノンケイ工場



売上高

主要客先が生産減少したものの、原材料価格高騰分の売価転嫁及び為替影響により増収

経常利益

要員適正化及び運送積載効率向上等の原価低減をしたものの、生産台数の減少及び生産車種構成変化の影響により利益は減少

セグメント業績(広州)

12/39

(単位：百万円)

	第65期	第66期	前期比
売上高	19,652	16,020	▲18.5% ↘
経常利益	1,001	▲249	—

第66期主な立ち上がり車種



ACCORD(HONDA)



哪吒S (CATL)

広州丸順汽車配件有限公司



売上高

主要客先の生産減少により減収

経常利益

生産設備の集約や要員再配置等労務費・経費の各種費用を削減をしたものの、生産減少による償却回収の遅れ等により減益

セグメント業績(武漢)

13/39

(単位：百万円)

	第65期	第66期	前期比
売上高	11,697	11,707	+0.1% ↗
経常利益	579	261	▲54.9% ↘

第66期主な立ち上がり車種



CR-V(HONDA)



G6(小鵬)

武漢丸順汽車配件有限公司



売上高

主要客先が生産減少したものの、為替影響により前年同期と同水準

経常利益

労務費・経費削減等の原価低減を推進したものの、生産減少に加え、生産減少に伴う償却回収の遅れにより減益

(単位：百万円)

セグメント	第65期 設備投資金額	第66期 設備投資金額	第66期 主な投資内容
J-MAX	2,200	2,178	岡山工場関連（土地・建物） 太陽光パネル・新型車種金型
タイ	687	538	洗浄機更新 新型車種金型
広州	1,444	3,953	HTライン・メッキライン 新型車種金型・福建工場
武漢	1,865	1,340	ナットサブライン自動化 新型車種金型
合計	6,197	8,010	

連結貸借対照表

(単位：百万円)

		第65期 (2023年3月31日)	第66期 (2024年3月31日)	前期比
資 産	流 動 資 産	22,347	22,203	▲144
	固 定 資 産	26,597	29,535	+2,937
	資 産 合 計	48,945	51,738	+2,793
負 債	流 動 負 債	20,886	20,979	+92
	固 定 負 債	5,689	9,003	+3,313
	負 債 合 計	26,576	29,982	+3,406
純 資 産		22,369	21,756	▲613
負 債 及 び 純 資 産 合 計		48,945	51,738	+2,793

主な要因	● 資 産	工具、器具及び備品・建設仮勘定が増加
	● 負 債	支払手形及び買掛金・長期借入金・リース債務が増加 1年内返済予定の長期借入金・退職給付に係る負債が減少
	● 純 資 産	利益剰余金・自己株式が減少 為替換算調整勘定が増加

対処すべき課題

- 中長期5か年計画「J-VISION 30」見直し

中長期経営計画見直しの背景

17/39

	2020年	2021年	2022年	2023年
社会情勢 の変化	新型コロナウイルス影響			円安傾向
	半導体供給不足			
	◆日本政府 2050年脱炭素宣言			資源価格高騰
自動車業界 主要客先 の変化	日本人口減少による自動車需要縮小・異業種参入による競争激化及び技術革新・CASEによる電動化の加速			
	中国NEV規制導入			
	国内メーカーEV戦略ヘシフト			
	新型コロナウイルス・半導体不足による減産			
				中国での日系メーカー販売不振
				タイ景気悪化に伴う自動車需要縮小 ◆近隣地区への競合進出

中長期経営計画見直しの背景

18/39

	2020年	2021年	2022年	2023年
当社グループ の変化	◆タイ 構造改革 ◆広州 CATL取引開始	◆日本 東証上場 ◆日本 基幹システム刷新	◆日本 岡山進出決定 ◆武漢 アルミ部品量産開始 ◆広州 福建工場設立決定	◆中長期経営計画発表 ◆タイ・広州 構造改革 トップ交代◆



東証上場時記念写真



岡山工場完成イメージ

ボディ部品事業及び精密・電動化部品事業の
更なる強化・拡大を図るため
岡山県浅口市に新工場の設立を決定

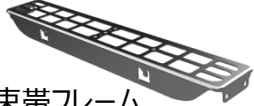


福建工場完成イメージ

当社連結子会社(広州丸順社)の子会社
(当社孫会社)として中国・福建省に
福建丸順社(工場)の設立を決定

中長期経営計画初年度の進捗状況

19/39

基本戦略		初年度進捗状況 (第66期)	初年度 評価
01	ブランド力強化と 新規顧客開拓による 売上の拡大	- 岡山地区売上の拡大 - 中国電動化事業の拡大 日本・中国拠点において電動化メーカーとの取引拡大 西日本地区(岡山含む)の拡販も順調  岡山工場完成イメージ	
02	新事業確立に向けた 新商品の開発	研究開発の強化 EV向け車載リチウムイオンバッテリーモジュール構成部品共同開発等、電動化領域を中心に研究活動を推進中  拘束帯フレーム	
03	デジタルを駆使し プロセスを変革させ コア技術を進化	金型事業のビジネスモデル変革 多能工化推進によりボトム体質を構築 広州拠点において電池ビジネス対応としてビジネスモデルを変革(短納期化) 	

中長期経営計画初年度の進捗状況

20/39

基本戦略		初年度進捗状況 (第66期)	初年度 評価
04 次世代工場の構築と 新しいモノづくりへのチャレンジ	- 生産工程の自動化 - スマートファクトリー化実現によるモノづくりの進化	AGV(無人搬送機)やロボット等による 自動化及びAI活用による自動測定等を推進中	○
05 DXの展開加速で 経営構造の変革	システム活用による業務プロセスの変革	各種システムの導入は完了 今後は効果刈取りのフェーズへ 	○
06 持続的な成長に向けた 事業ポートフォリオの変革	- アライアンス・M&A活用による成長加速 - 事業の選択と集中	グループ全体で構造改革を実施 事業の見極め、スリム化等を継続推進 今後は地域・事業に合致した積極提携推進	△
07 サステナビリティ経営による 企業価値の向上	- ESGの取組強化 - 最適な資本政策の実施	重要課題より設定したKPIに対し、進捗確認できる体制を構築 資本政策は業績悪化により見直しを実施	△

中長期経営計画 -ビジョン・基本戦略-

「J-VISION 30」

①2030年に向けて ②30年後の100年企業に向けて
「**既存事業の強化**」と「**新事業の創出**」を戦略の2本柱とし、
第66期～第70期の中長期計画を「**J-VISION 30**」とする

ビジョン

技術で夢を

-Make our dreams by Technology-

持続可能な100年企業を目指し、既存事業の技術を磨くと共に、
新しい事業への探索と挑戦で企業価値を高め、
従業員をはじめとするステークホルダーと夢を共有する。

【中長期方針】 資源配分の最適化により、強固な経営基盤への変革

基本戦略

1. ブランド力強化と新規顧客開拓による売上の拡大
2. 新事業確立に向けた新商品の開発
3. デジタルを駆使しプロセスを変革させコア技術を進化
4. 次世代工場の構築と新しいモノづくりへのチャレンジ
5. DXの展開加速で経営構造の変革
6. 持続的な成長に向けた事業ポートフォリオの変革
7. サステナビリティ経営による企業価値の向上

企業成長

ボディ
部品

電動化
部品

金型
事業

研究
開発

成長
事業

- ✓ 生産能力拡大
- ✓ 売上規模拡大
- ✓ 生産体質変革
- ✓ 競争力強化

成長戦略
2本柱

- ✓ 新商品・新事業
- ✓ 事業の選択と集中
- ✓ 経営資源最適配分

強固な収益基盤構築

持続的な成長に向けた
事業ポートフォリオ変革

既存事業の強化

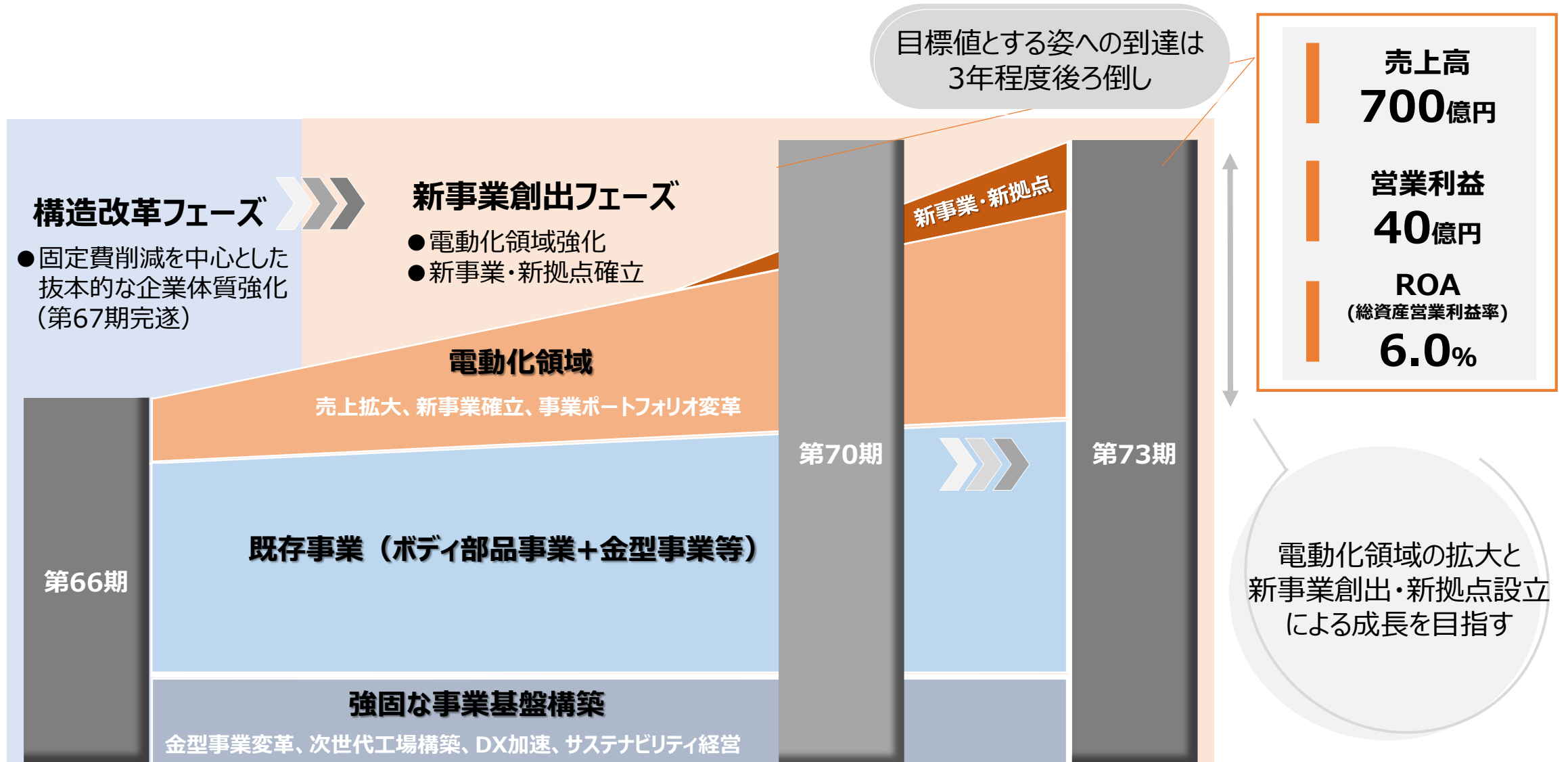
新事業の創出

ビジョン・基本戦略は**変更なし**

注力テーマを明確化

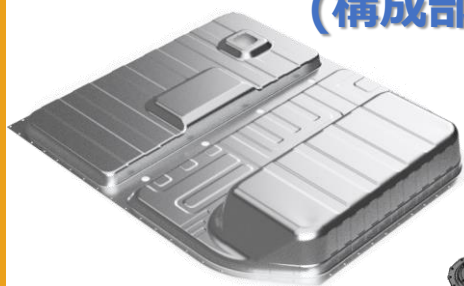
◆**電動化・軽量化に集中した
電動化サプライヤーへの転換**

◆**事業構造改革推進による
持続可能な企業体質の構築**



車載電池全方位網(自社開発/共同開発)

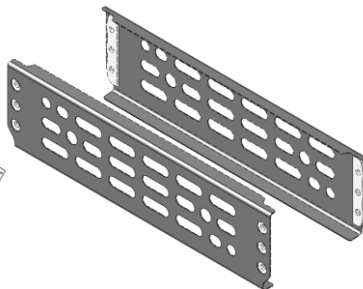
バッテリーケース (構成部材)



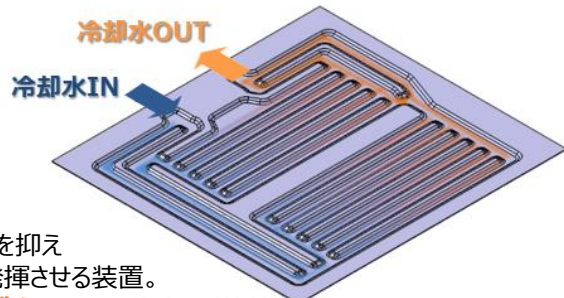
バッテリーモジュールを収納し
バックするためのケース。
国内外問わずほとんどの電動車に搭載。

拘束体 (電池の膨張を抑制)

バッテリーの衝突保護及び膨張を
抑えることによる長寿命化に寄与する部品。
国内の電動車にはほぼ100%搭載。



冷却装置 (電池の熱を制御)



バッテリーの発熱を抑え
最大限性能を発揮させる装置。
国内外問わず多くの電動車に搭載。

モーターコア部品

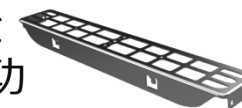


モーターを構成する部品。
国内外問わずほとんどの電動車に搭載。

車載電池拘束体進化による軽量化

・拘束体フレームの超ハイテン化(980MPa)

ボディ骨格で培った超ハイテン技術を
応用し、超ハイテン材での加工に成功



拘束体フレーム

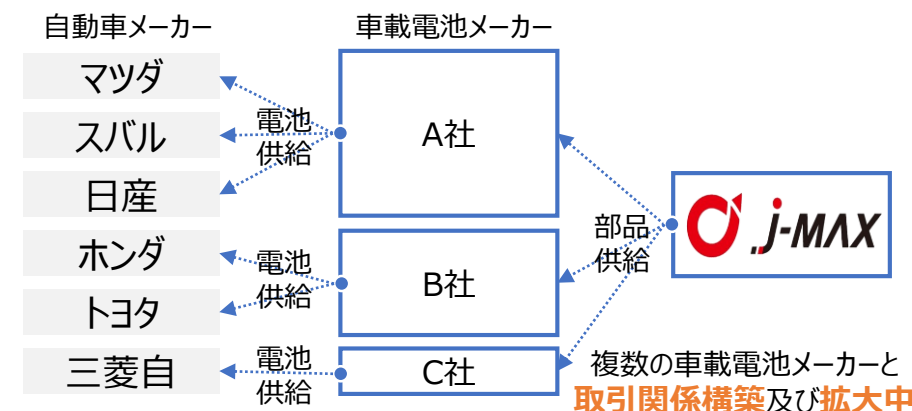
≫ 車体軽量化

・極小ピン角化

フレームの折り曲げ部分の湾曲を小さくし
直角に近い形状で成形するニーズに対応

≫ バッテリーモジュール小型化

自動車メーカーと 車載用電池メーカーの相関図(日本)



CATLビジネスの拡大

新エネルギーの革新的技術のグローバルリーダー

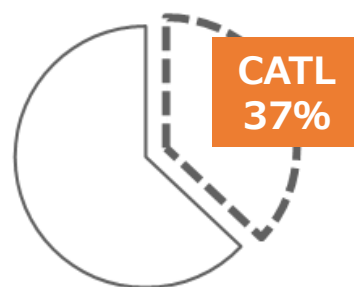
会 社	寧徳時代新能源科技股份有限公司
主 な 事 業	乗用車、商用車、二輪車、船舶等の バッテリー 事業 充電システム等の 蓄電システム 事業
主 な 取 引 先	テスラ、BMW、トヨタ、ホンダ、広州汽車、吉利汽車、奇瑞汽車等
購 買 先 (日 系 メーカー)	広州丸順社(当社子会社) 等

事業の拡大



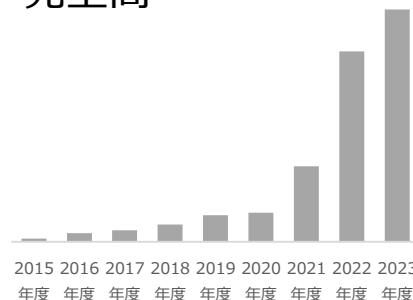
事業を次々と拡大

車載電池シェア



車載電池トップシェア

売上高



売上高は右肩上がり

電池ビジネスへの変革

2020年からCATLと取引開始

自動車ビジネス ≠ 電池ビジネス
(開発期間長い) (開発期間短い)

創業以来の金型製作モデルプロセスを進化



短納期に対応

2025年 中国に新会社設立 (稼働開始)



福建新会社完成イメージ

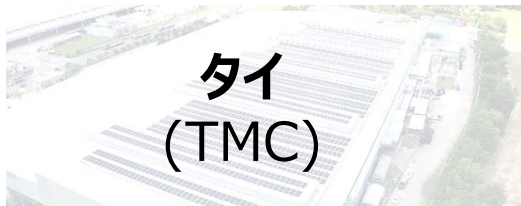
CATLの本社がある
中国福建省に新会社設立予定

- ✓ CATL福建：福建新会社
- ✓ CATL広州：広州丸順社
- ✓ CATL四川：成普汽模社と提携



各拠点で供給可能な

体制を構築

構造改革 (固定費削減・事業のスリム化等)		事業ポートフォリオの変革 (新拠点設立・新事業創出等)	
 日本 (J-MAX)	● 東海地区再編 ・ 工場再編 等 	● 岡山工場立ち上げ ● 電動化領域拡大 	
 タイ (TMC)	● 徹底した構造改革の実施 ・ 金型工場・土地売却 ・ 要員適正化 等 	● 電動化領域拡大 ● アジアのハブ拠点としての活用拡大 	
 中国・広州 (G-MAX)	 ● 各種構造改革の実施 ・ 広州第1工場売却 ・ 要員適正化 ・ 工場再編 等	 中国・武漢 (W-MAX)	
		● 福建ビジネス拡大 ● 電動化領域拡大 ● 中国拠点機能統合推進 ● 中資系サプライヤーとの積極連携 	
		● 新拠点立ち上げ ・ 成長市場への進出 ・ M & Aや業務提携の活用等 ● 新事業創出 ・ 新商品の開発 	

第67期完遂

第67期完遂

営業CF の考え方

- 外部環境変化に伴う主要客先の生産台数減少への対応
→ **構造改革の推進**により、**抜本的に固定費を削減**
- 賃上げやエネルギー価格高騰等の環境変化に伴う**原価高の売価転嫁推進**
- 成長が見込まれる**電動化領域の受注拡大**を強力に推進
→ **営業CFの創出**

注力テーマの推進

- ◆ 電動化・軽量化に集中した**電動化サプライヤー**への転換
- ◆ **事業構造改革**推進による持続可能な企業体質の構築

投資CF の考え方

- 将来の収益向上に向けて**電動化等の成長分野**への**戦略的投資**に集中
- 新規投資においては、**資本コストの考え方を加味した**投資判断
→ **資本効率の向上**

注力テーマの推進

- ◆ 電動化・軽量化に集中した**電動化サプライヤー**への転換

フリー キャッシュ フロー

- 研究開発、株主還元、有利子負債返済等のバランスを考慮
- 地域・事業アライアンス**等による外部資源の積極活用
- 前中長期並みの財務体質の維持
- 株主還元については、連結業績、将来の業績見通し、資金需要、内部留保及び財務体質等の状況を総合的に勘案し**毎期ごとに設定**

第67期業績予想

27/39

アジアの自動車市場において、中国を中心に急速に電動化が加速しており、
主要客先の減産が継続している状況を踏まえ、期末まで減産が継続すると想定し、業績予想を算出

【単位：百万円】

	第66期 実績	第67期 予想	増減額	増減率
売上高	54,347	47,000	△7,347	△13.5%
営業利益	1,041	400	△ 641	△61.6%
営業利益率(%)	(1.9%)	(0.9%)		
経常利益	731	0	△ 731	△100.0%
経常利益率(%)	(1.3%)	(0.0%)		
当期純利益	△1,026	△850	176	-
当期純利益率(%)	(-)	(-)		
一株利益(円)	△89.45	△74.26	15.19	-

	第67期（円）
為替レート	タイバーツ：3.70、人民元：19.00
配当予想	中間配当：2円、期末配当：2円

決議事項

第1号議案	剰余金の処分の件
第2号議案	取締役 8 名選任の件
第3号議案	補欠監査役1名選任の件

剰余金の処分の件

期末配当に関する事項

- (1) 配当財産の種類 **金銭**
- (2) 配当財産の割当てに関する事項およびその金額
当社普通株式 1 株につき 金 9 円
総額 104,102,199円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日
2024年 6 月 2 1 日

取締役8名選任の件

候補者 番号	候補者氏名	現在の当社における地位・担当		取締役会 出席状況
1	やまざき えいじ 山 崎 英 次	代表取締役社長執行役員	再任	16/16回(100%)
2	あおやま ひでみ 青 山 秀 美	取締役常務執行役員 管理本部長	再任	16/16回(100%)
3	いのくま あつとし 猪 熊 篤 俊	取締役常務執行役員 日本事業本部長	再任	16/16回(100%)
4	まつい つねお 松 井 恒 夫	取締役上席執行役員 日本事業本部副本部長兼金型製造部長	再任	13/13回(100%)
5	つゆき よしのり 露 木 好 則	取締役	再任	15/16回(93.8%)
6	たけうち はるひこ 竹 内 治 彦	取締役	再任 社外 独立	16/16回(100%)
7	やなぎさわ たみのり 柳 澤 民 紀	取締役	再任 社外 独立	16/16回(100%)
8	おおくら むつみ 大 倉 睦 美	取締役	再任 社外 独立	16/16回(100%)

補欠監査役1名選任の件

候補者氏名		現在の地位
お ば ら や す あ き 小 原 靖 明	N T Sホールディングス株式会社社外監査役 株式会社 A G Sコンサルティング顧問 株式会社ピーエスシー監査役	社外 独立

質疑応答

議長の指名後に出席票番号をお伝えいただき
要点を簡潔にまとめて、ご質問ください。

ご質問については、一回につき 1 問までとさせて
いただきたくお願い申し上げます。

決議事項の採決

第1号議案	剰余金の処分の件
第2号議案	取締役8名選任の件
第3号議案	補欠監査役1名選任の件

第1号議案

剰余金の処分の件

第2号議案

取締役8名選任の件

第3号議案

補欠監査役1名選任の件

本日の総会の目的事項はすべて終了いたしましたので、本総会は閉会といたします。

退任役員のご挨拶

本日は誠にありがとうございました。

技術で夢を

—Make our dreams by technology—